

(4) クリーンでグリーンな大阪“みなと”（環境）

良好な港湾環境及び都市環境の保全、創出に向け、常に環境配慮への意識を取り込み、CO2の削減等による環境負荷の軽減策を図るとともに、大阪湾の水質改善と多様な生物の生息・生育や人と海の関わりの拡大に向けた取り組みを進めます。

海洋環境保護の取り組み

■ LNGバンカリング※環境の形成

令和2年より船舶の燃料油に含まれる硫黄分濃度の規制が国際的に強化され、今後LNGを燃料とする船舶の増加が見込まれる中、堺泉北港にはLNG基地が集積していることから、これらを活用（エネルギーの地産地消）して、大阪港・堺泉北港・阪南港等でのLNGバンカリング環境を調べていくことで、LNG燃料船の寄港を促進し、環境負荷の低減を図ります。

さらに、LNGバンカリング環境を調えることで、将来にわたって、大阪港や堺泉北港、阪南港等が船会社や荷主等から選ばれ続けることにもつながることから、コンテナ、フェリー、自動車運搬船、クルーズ船などの寄港維持・拡大を通じて、港の国際競争力の強化やにぎわいの創出を図り、輸出入を行う荷主や港運事業者などの定着や新規進出に貢献していきます。

※LNGバンカリング・・・船舶へのLNG(液化天然ガス)の燃料供給のこと



【LNG燃料フェリーのイメージ図(株式会社商船三井ホームページより)】



【時代のニーズを先取りした環境施策「LNGバンカリング」】

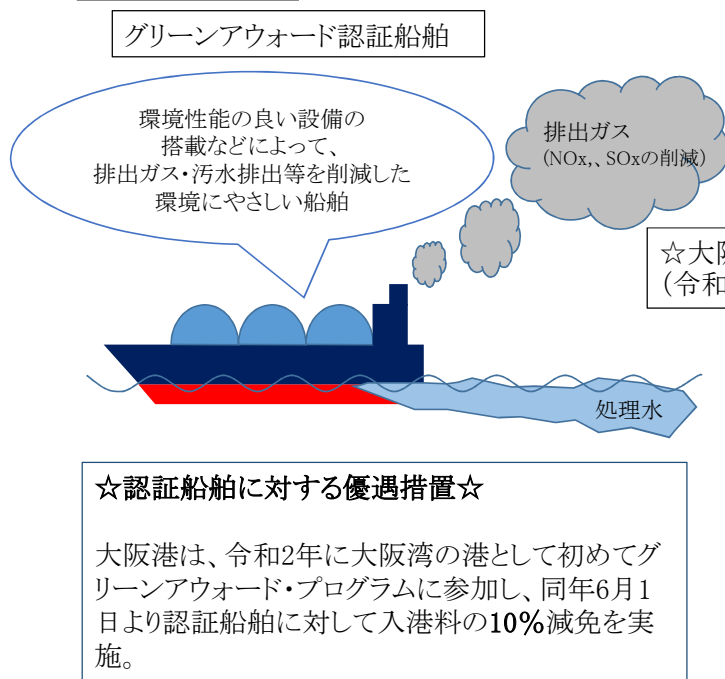


【大阪湾でのLNGバンカリング環境形成のイメージ】

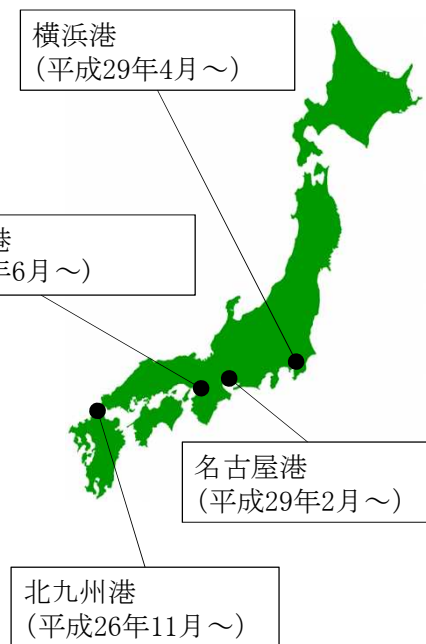
■ 海洋・港湾環境プログラム(グリーンアワード)に基づく認証船舶の利用促進

船舶からの大気汚染物質の排出抑制についての国際的な規定が設けられる中、海洋・港湾環境の保全プログラムに参加することにより、クリーンでグリーンな大阪“みなと”の実現に向けた取組みを進めます。

<グリーンアワード・プログラム参加による環境保全イメージ>



<日本におけるプログラム参加港>



優遇措置の付与により、世界的な認証船舶の増加を後押しすることで、海洋環境保護に積極的に取り組む港湾であることを世界に向けアピールし、同じ理念を共有する船会社による利用推進を図ります。

<<グリーンアワード・プログラムとは>>



【グリーンアワード ロゴマーク】

海洋環境保護・船舶の安全運航への支援を目的として設立された「非営利活動法人グリーンアワード財団※」が世界規模で取り組んでいる活動で、安全で環境にやさしい船舶を認証し、認証船舶に優遇措置を与えることにより、船舶・船員の質を向上させ、海洋環境の保護を目指すことを目的とするプログラム。

- ・認証船舶数：257隻(令和2年6月現在)
- ・参加港湾：16ヵ国、40港

※ オランダに本部を置く非営利活動法人で、1990年にロッテルダム港で起きた原油流出事故を契機に、1994年に設立。

美しく親しみやすい大阪湾の再生

大阪湾再生行動計画※に基づき、府民、市民のだれもが海とふれあえる親水空間や自然再生をめざした水辺空間の整備・保全を進めるとともに、地域住民などが参画した美しい港湾・海岸づくりを進めます。

■ 水辺空間整備・保全

だれもが身近に海辺で憩い楽しみ、海と触れ合えるよう、背後の生活空間や商業施設等と一体となった緑地・海浜地等の整備、保全を行い、大阪湾再生に向けた良好な水辺空間を確保する取り組みを行います。

(河川浚渫土砂等の活用事例)



【堺2区 人工干潟】



【阪南2区 人工干潟】

(商業施設・緑地と一体となった親水空間の整備・保全)



【大阪港咲洲 シーサイドコスモ】



【岸和田旧港 ボードウォーク】

■ 美化活動

地元自治会や企業などの団体と協働して清掃など活動を行うことにより、マナー向上や地域に愛され大切にされる港湾・海岸美化の更なる取り組みを推進します。



【港湾・海岸美化活動】



【アドプト・シーサイド】

■ ふれあい、学習の場

環境学習や磯浜見学会、またNPOやボランティア、企業などと協働した森づくりを行うことにより、自然とのふれあいの場の拡大を図ります。



【大阪港南港野鳥園 環境学習】



【淡輪箱作海岸 磯浜見学会】



【堺第7-3区 共生の森】

※大阪湾再生行動計画・・・水環境改善に向けた課題が多く残された大阪湾において、都市再生プロジェクトである「海の再生」を推進するために策定された計画のこと。国、地方公共団体等が住民・市民やNPO、学識者、企業等の多様な主体との連携、協働を図りつつ、大阪湾の水環境改善に取り組む。